

第250回

荒川の人

お風呂屋の主人から写真家へ。

幻のレンズで世界にたった1枚の風景表現を追い求める。

ふくしま のぶよし
写真家 福島 延吉さん

【プロフィール】1936年東京生まれ。東洋大学卒業。学生時代から山登りをはじめ、本格的な登山家(アルピニスト)として日本中の山を登はん。山岳雑誌「岳人」にて、冬の穂高、谷川岳などの峻険な写真を掲載。30歳で家業の公衆浴場を継ぎ、登山とカメラを中止。50歳を過ぎ、闘病を機に経営を息子に任せ、風景写真を撮り始める。日本写真協会(P.S.J)会員・日本山岳写真協会(JAPA)会員



スマートフォンで簡単に写真が撮れ、誰でも気軽に日常のひとコマを投稿するインスタグラムが大流行りの昨今。写真と言えばデジタルが当たり前で、本来はカメラとフィルムを使って撮影、現像していたことを知らない子どもたちも多いのではないのでしょうか。そんな時代だからこそ、昔ながらの貴重な大型レンズのカメラと大判フィルムを使って、その組み合わせでしか表現できない、独自のアートを追求している写真家が、荒川区西尾久の福島延吉さんです。

暮らしに銭湯が欠かせない時代
昭和34年、西尾久に仙石湯を創業

今年81歳になる福島さん、実は、2011年1月まで営業していた銭湯「仙石湯」のご主人でした。押上で生まれ、神楽坂で育ち、疎開により京都で暮らしたのち東京に戻り、幡ヶ谷を経て、荒川区に落ち着くことになったそうです。写真の前に、まずは銭湯のお話から伺っていきましょう。

「家業が銭湯だったので、どの土地に行っても、家族で銭湯を経営していました。疎開していた京都市内から渋谷区の幡ヶ谷に戻り、その次に銭湯を広げようと親父が場所を探して、荒川のこの場所に大きな銭湯を開くことを決めたんです。仙石湯の創業は昭和34年。昭和39年の東京オリンピック開催を前に街は活気にあふれ、人口

もどンドン増えていった時代です。1,000人から多いときで1,500人、毎日たくさんの方が(湯に)入りに来てくれました」

当時は福島さんのお父さまが手腕をふるい、福島さんは燃料の手配にトラックでおがくずなどを集める仕事などを手伝っていたそうです。

「なんせお客さんが多いから、番台に上がるおふくろも大忙し。番頭さんも2、3人いました。運転を覚えれるからと、地方から出てきた子が動かしてほしいと飛び込んできたこともありました。赤ちゃん連れのお母さんがお風呂に入るときに子守りをする「ねえや」さんも、最盛期は4、5人いましたね」

風呂がない家がほとんどの時代、銭湯は大繁盛。さらに1軒を日比谷線が開通したばかりの北越谷に作り、一時は埼玉県越谷市に住んだこともあったそうですが、結局はなじみ深い荒川に戻ってくるようになったと言います。

家業のために断った山と写真
30年たって再び機材を手

さて、福島さんと写真との出会いは大学時代にさかのぼります。大学で本格的な登山を始め、日本中の山を登る際に写真機を持ち歩き、登はん中にしか撮れない写真の撮影に熱中したそうです。その作品は、1947年創刊の山岳雑誌「岳人」に連載されるほどでした。ところが、30歳のとき、お父さまの病により家業に専念するため、大学卒業以降も続けてきた登山とカメラを一切断つことを決心します。それを再開するのは20年後。50歳を過ぎて、ご自身の病気がきっかけだったと言います。

「50歳で胃がんを患って、家業の経営を息子に任せました。数年してがんが治ってから、時間もできたことだし、もう昔のような登山は無理だけど、好きな風景の写真を撮りたいと思ったんです。デジタルじゃなくてあえて昔ながらのフィルムで、だんだんとサイズを大きくしていき、今使っているのは最大の8×10です」

1枚1枚がシート状になっている、8×10インチ(20×25センチ)の大判フィルムを昔の映画に出てくるような大型

カメラに入れ、そこに着けるのは、1925年にドイツで作成された貴重なアンティークレンズ「ニコラペルシャイト」です。

「ニコラペルシャイトは特殊柔焦点で、昔の映画スターのポートレート撮る際などに使われた特殊なレンズです。現在ではほとんどお目にかかれぬものを、縁あって入手できたのですが、撮影するのが本当に難しい。絞りがなくてピントが来ないので。私も最初はまったく思うように撮れませんでした」

試行錯誤の上にとやっとレンズの特長をつかんだと言います。ここ数年から最新作まで、フィルム状態のものから、大きく引き伸ばしたものなど、さまざまな作品を見せていただきました。

フィルム写真の良さを伝え続け
写真の可能性を追求したい

発光しているかのように鮮やかな紫色を放つ朝顔。濃厚な香りを閉じ込めたような艶やかな質感のバラ。水墨画で描かれたような濃淡を持ち、神秘的なたたずまいを感じさせる山々、海辺の風景など。「えっ、これが写真なのですか?」と驚くような、今まで見たことのない写真がそこにありました。中でも今回紙面で初公開させていただいた「バラ」は、主役のバラにピントがあって、周りがふんわりとベールをかぶったような、ニコラペルシャイトの特長がよく分かる印象的な作品です。

風景、花、海など、長年研究して撮り続けた作品を集めた個展は、2001年、2004年に東京で開催され、その後、全国を巡回。海外では、台湾、ロシアなどでも作品を発表し、2014年にはニューヨーク市立大学で2カ月におよぶ個展が開催され、このような写真をどうやって撮ったのか、感嘆の声とともに大きな評判を呼びました。「今後も幻のレンズと8×10を使って撮り続け、フィルム写真の素晴らしさを伝えながら、写真家として1枚の写真でどれほど感動を与えられるかを追求していきたい」と、福島さんのアートへの創作意欲はまだまだ尽きることはありません。



「バラ」2017年撮影。フィルムは8×10、レンズはニコラペルシャイトを使用。

大村 朱澄 (カヌー)

2012年 ロンドンオリンピック
カヤック 500mベア 出場

2015年 アジアカヌースプリント選手権大会
カヤック 500mベア 3位

きつと、夢咲かせる

城北信用金庫は、所属するアスリートを紹介スポーツの万能性への理解を深めることで、より豊かな地域や社会づくりを目指します。

Johoku Athletes Club

競技やシーズン、活動拠点の違う7名のアスリート職員が在籍しています。

夢をかなえるパートナー
城北信用金庫

木曾路 和牛ひつまぶし

10月31日(火)まで

和牛ひつまぶし
和牛ひつまぶし、茶碗蒸し、漬物、薬味、出汁、香の物
2,000円(税込2,160円)

和牛ひつまぶし御膳
和牛ひつまぶし、お造り、茶碗蒸し、漬物、薬味、出汁、香の物、デザート
3,000円(税込3,240円)

2時間飲み放題付 宴会込々コース

消費税・サービス料込 期間:11月30日まで

6,000円 国産牛宴会込々コース
先付、お造り2種、しゃぶしゃぶ(国産牛ロース肉120g、野菜類)、新巻、香の物、デザート

6,000円 和牛宴会込々コース
先付、お造り2種、しゃぶしゃぶ(和牛ロース肉80g、野菜類)、新巻、香の物、デザート

7,000円 和牛宴会込々コース
先付、お造り2種、新巻、茶碗蒸し、しゃぶしゃぶ(和牛ロース肉120g、野菜類)、新巻、香の物、デザート

※写真は7000円コース3人前のイメージです。

ご宴会ご予約承り中!
※無料送迎バスをご用意いたします。※ご予算ご相談ください。

木曾路南千住店
荒川区南千住 5-6-15
電話:03-5850-5567

グラスドリンク人数分プレゼント

●2,160円以上の料理をご注文に限ります。
●グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。
●他券との併用はできません。
●ご飲食前係員にお渡しください。
●H29年11月30日まで有効(祭りは除く)
●木曾路南千住店のみ有効